



<NCA Annual Conference 2025>
AIでセキュリティ研修をアップデート！
みんなで実践ハンズオン

日本シーサート協議会
セキュリティ教育検討WG
2025年12月18日

本日のスケジュール（16:20－17:50）

16:20-16:22 ご挨拶

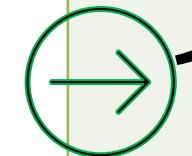
16:22-16:25 WG紹介・ワークショップ概要説明

16:25-17:30 ワークショップ

17:30-17:40 おさらい

17:40-17:45 クロージング

進行状況



16:20-16:22 ご挨拶

16:22-16:25 WG紹介・ワークショップ概要説明

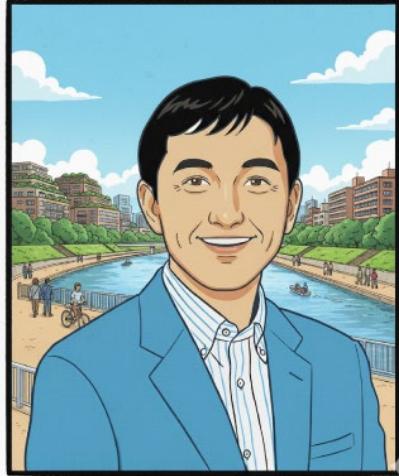
16:25-17:30 ワークショップ

17:30-17:40 おさらい

17:40-17:45 クロージング

よろしくお願いします！

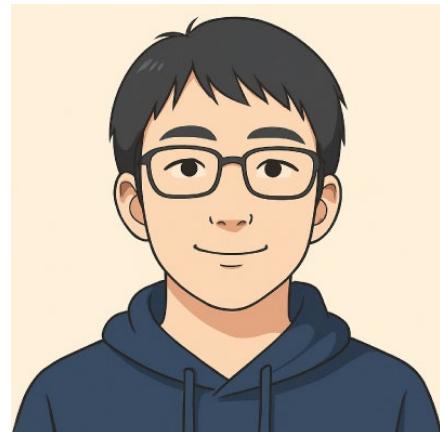
本日皆様のサポートをするメンバーです！



井田 潤



おおた さん



高橋 研介



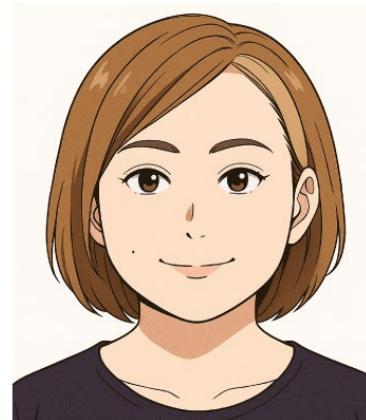
奥住 恵



高瀬 悠



森野 正訓



渡辺 文恵

進行状況

16:20-16:22 ご挨拶

→16:22-16:25 WG紹介・ワークショップ概要説明

16:25-17:30 ワークショップ

17:30-17:40 おさらい

17:40-17:45 クロージング

セキュリティ教育検討WG

組織内の従業者向けセキュリティ教育に関する情報共有や課題解決のためのディスカッションを実施し、各組織の教育担当者が活用できる教育コンテンツをまとめたドキュメント類の検討も行います。

そして多くのCSIRTで、より効果的で効率的なセキュリティ教育・啓発ができるようになることを目指します。

昨年(2024年)の Annual Conference 振り返り



日本シーサート協議会
Nippon CSIRT Association



調査概要

- 調査対象: 日本シーサート協議会(NCA)加盟組織
- 調査期間: 2024年8月9日～10月4日
- 質問数: 最大88問
- 回答数: 324
- 回答率: 59% (324/548)

業種

建設業	: 5%
製造業	: 25%
運輸業	: 4%
エネルギー	: 2%
情報通信業・情報サービス業	: 35%
サービス業(非IT関連)	: 5%
金融・保険・不動産業	: 7%
卸売業	: 2%
小売業	: 4%
学術(大学・研究機関)	: 5%
その他	: 7%

組織規模(従業員数)

50名以下	: 2%
50名～99名	: 2%
100名～499名	: 13%
500名～999名	: 11%
1,000名～4,999名	: 39%
5,000名～9,999名	: 11%
10,000名以上	: 23%

© Nippon CSIRT Association, All rights reserved.

7

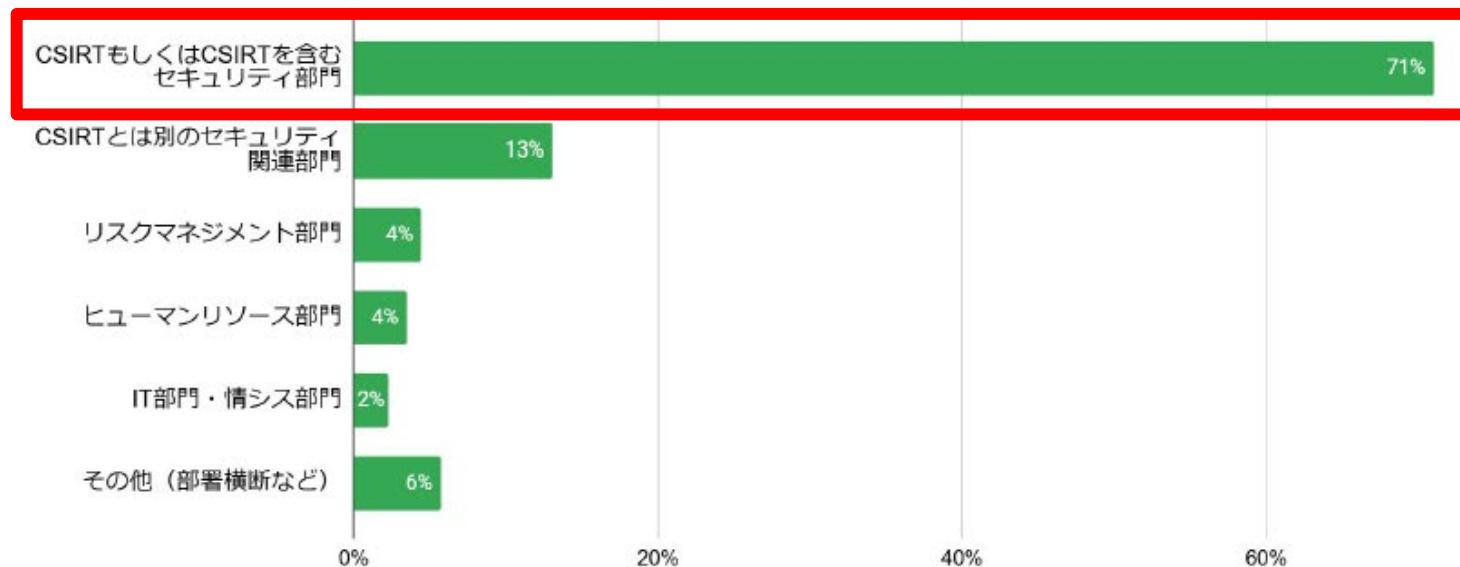


セキュリティ教育動向調査

昨年(2024年)の Annual Conference 振り返り

多くの組織がCSIRT主体でセキュリティ教育(研修)を行っている

どの部門が主体で実施していますか？



© Nippon CSIRT Association, Inc.

セキュリティ部門が主体で実施

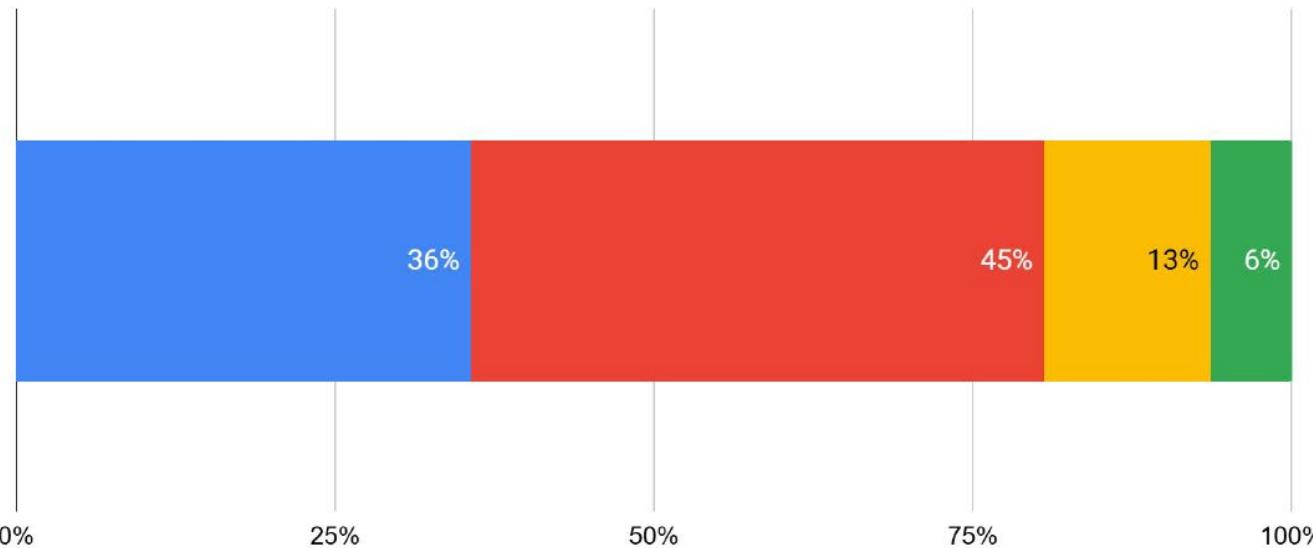
CSIRT
日本シーサート協議会

昨年(2024年)の Annual Conference 振り返り

半数近く(45%)が教育に1人月～3人月未満かけている

社内セキュリティ教育（研修）の運営にかかる社内メンバーの工数はどのくらいですか？
(研修の企画、教材の作成、事前準備や実施などセキュリティ教育全般に関わる工数)

■ 1人月未満 ■ 1人月以上3人月未満 ■ 3人月以上5人月未満 ■ 5人月以上



昨年(2024年)の Annual Conference 振り返り

課題は、教材作成に時間・手間かかるが最多

セキュリティ教育（研修）の課題、お悩みで当てはまるものを全て選んでください

教材作成に時間・手間かかる

61%

人手が足りない

39%

内容が最適になっていない

28%

効果が出ているのかわからない

50%

受講率が低い

6%

課題はない

4%

上層部の理解が得られない

3%

その他

19%

私たちの現実は、時間と効果のせめぎ合い

2024年のNCA調査から見えた、セキュリティ教育担当者の「3つの壁」。

61%

が「教材作成に時間と手間がかかりすぎる」と回答。



50%

が「効果が出ているのかわからない」という不安を抱えている。



39%

が「人手が足りない」と感じている。



そして「情報セキュリティ基礎研修」教材が完成！



目次

1. 基礎編
2. コンピュータ・ソフトウェア
3. アクセス管理・情報資産の扱い
4. 外出時・リモートワーク時の注意
5. SNSなどインターネット利用時
6. インシデント対応・連絡窓口
7. インシデント事例

© Nippon CSIRT Association, All rights reserved.

2

CSIRT
日本シーサート協議会

1-1. セキュリティとは、何故対策が必要か

情報セキュリティの3要素

情報資産が安全安心であるために、3つの要素を維持しなければなりません。

機密性 Confidentiality

許可されたユーザーのみが情報資産にアクセスできる状態にしておくこと
⇒ 対策：アクセス制御、パスワード管理、暗号化など

完全性 Integrity

情報資産を正確かつ完全な状態にしておくこと
⇒ 対策：バックアップ、バージョン管理、変更検知など

可用性 Availability

必要なときにいつでも情報資産を利用可能な状態にしておくこと
⇒ 対策：冗長化、負荷分散、バックアップなど

© Nippon CSIRT Association, All rights reserved.

スライド 5 / 51 日本語

講義スクリプトもついています

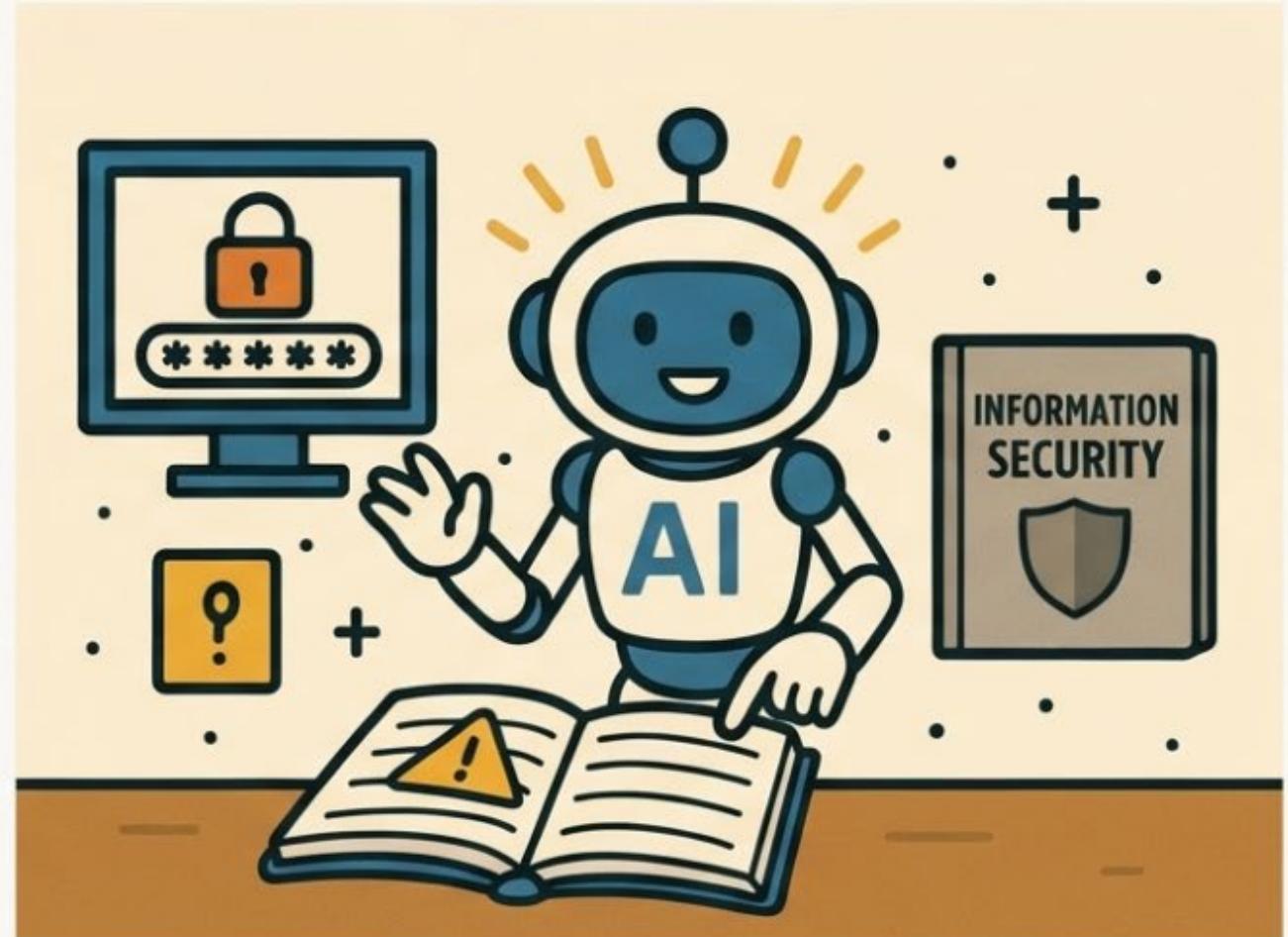
しかし、優れたテンプレートだけで十分でしょうか？



最高の素材があっても、それをどう調理し、どう提供するかが最も難しい。
画一的な研修では、従業員の行動変容まで至らない現実に、多くの担当者が直面しています。

研修担当者の隣に、最強の「AI副操縦士」を。

生成AIは、アイデアの壁打ち相手、企画の草案作成、そしてカスタマイズの触媒となります。tediousな作業をAIに任せ、人間はより創造的で、戦略的な業務に集中する。それが新しい研修開発のスタイルです。



本日のワークショップ概要説明（後ほど改めて説明します）

1. AIでセキュリティ研修を効果的に実現する方法をみんなで考えるワークショップです
2. ワークショップではAIが研修企画をする際のサポート役を果たします(GoogleのAIエージェント、gemを利用します)
3. 個人ワークでAIが例示した研修案を吟味し、一番刺さったものを選び、各チーム内で発表してください
4. そして各チーム内で最もよい案と思われるものを決め、全体にむけて発表していただきます
5. 皆様からは役に立つフィードバックをお願いします！

本日のスケジュール

16:20-16:22 ご挨拶

16:22-16:25 WG紹介・ワークショップ概要説明

→16:25-17:30 ワークショップ

17:30-17:40 おさらい

17:40-17:45 クロージング

ワークショップ全体の流れ



ワークショップ全体の流れ



チーム内で自己紹介をお願いしたいので…

チームだいこん

チームこんにゃく

チームちくわ

チームこんぶ

チームはんぺん

チームごぼう



AIを通して自己紹介文をつくってみましょう

チームだいこん

チームこんにゃく

チームちくわ

チームこんぶ

チームはんぺん

チームごぼう



自己紹介用のAIエージェント(gem)を用意しました

AIエージェントとは

- 人間の細かい指示がなくても自律的にタスクを遂行できる人工知能です。
- 単なる質問応答や文章生成にとどまらず、目標を理解し、必要な情報を収集・分析し、最適な行動を選択して実行するという一連の流れを自分で繰り返します。

実際にやってみます

投影のみ

gemini.google.com/app?redirectTo=gem%2F97006aeea0b8&dttos=1

Gemini

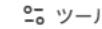
ログインを忘れずに！



Jun さん

Gemini に相談

+



高速モード



画像の作成

動画の作成

何でも書く

知識習得サポート

一日を盛り上げる

あなただけの AI アシスタント、Gemini へようこそ



Google 利用規約 および Gemini アプリのプライバシーに関するお知らせが適用されます。Gemini とのチャットはレビューされ、Google AI の改善に利用されます。プライバシーの設定についてご確認ください。Gemini は不正確な情報を表示することがあるため、回答を再確認するようにしてください。ユーザーの位置に関する情報も Gemini アプリ アクティビティとともに保存されます。

こんな感じで入力できます

投影のみ

gemini.google.com/gem/97006aeea0b8?pli=1

Gemini

アップグレード



自

自己紹介Gem

ニックネーム、趣味、普段の業務などを入力すると、ユニークな自己紹介を考えてくれます

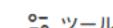
この Gem は共有されています。カスタム指示は変更される場合があります。

あなただけの AI アシスタント、Gemini へようこそ

[Google 利用規約](#)および [Gemini アプリのプライバシーに関するお知らせ](#)が適用されます。Gemini とのチャットはレビューされ、Google AI の改善に利用されます。[プライバシーの設定についてご確認ください](#)。Gemini は不正確な情報を表示することがあるため、回答を再確認するようにしてください。[ユーザーの位置に関する情報](#)も Gemini アプリ アクティビティとともに保存されます。

Gemini に相談

+



高速モード



入力したプロンプト

- ニックネームはじめゅんちゃんです
- 糖質取りすぎが気になるプレシニア
- 仕事は毎週旬なセキュリティ関連の仕事
- 今週はログ解析が多め
- 座右の銘は「明日は我が身」

こんな感じで出力されます

入力したプロンプト

- ニックネームはじゅんちゃんです
- 糖質取りすぎが気になるプレシニア
- 仕事は毎週旬なセキュリティ関連の仕事
- 今週はログ解析が多め
- 座右の銘は「明日は我が身」

自己紹介文作成と情報交換 ▾

△ アップグレード

ニックネームはじゅんちゃんです
糖質取りすぎが気になるプレシニア
仕事は毎週旬なセキュリティ関連の仕事
今週はログ解析が多め
座右の銘は「明日は我が身」

自 己紹介Gem・カスタム Gem

「じゅんちゃん」と呼んでください！見た目は甘いものに弱いプレシニアですが、仕事は毎週旬なセキュリティの脅威を追い、今週は大量のログ解析で不正の痕跡を探るサイバー探偵です。座右の銘は「明日は我が身」。これは情報セキュリティの世界だけでなく、糖質過多の自分自身の健康にも言い聞かせている言葉で、常に「いつか来る危機」と戦っています。甘いニックネームとシビアな仕事のギャップが私のユニークな個性です！この「セキュリティと血糖値の綱渡り人生」に興味を持っていただけたら嬉しいです。

出力された自己紹介

「じゅんちゃん」と呼んでください！見た目は甘いものに弱いプレシニアですが、仕事は毎週旬なセキュリティの脅威を追い、今週は大量のログ解析で不正の痕跡を探るサイバー探偵です。座右の銘は「明日は我が身」。これは情報セキュリティの世界だけでなく、糖質過多の自分自身の健康にも言い聞かせている言葉で、常に「いつか来る危機」と戦っています。甘いニックネームとシビアな仕事のギャップが私のユニークな個性です！この「セキュリティと血糖値の綱渡り人生」に興味を持っていただけたら嬉しいです。

Gemini以外の生成AI(Copilotなど)の場合

Gemini 以外のAIエージェントを公開できなかつたので、以下のプロンプトを入力し、自己紹介文を生成しましょう

このあと入力された情報をもとに、初対面の人に興味を持つてもらえるような面白くてユニークな自己紹介文を考えてください。自己紹介文は改行なし、300字程度としてください。

00 自己紹介用プロンプト.txt

【参考】Copilot の場合

Microsoft Copilot: あなたの AI アシスタント

<https://copilot.microsoft.com>



Copilot は間違いをする可能性があります。Copilot を使用
に同意したことになります。当社のプライバシーに関する声明を

了解しました！自己紹介文を作るために、あなたの情報が必要
例えば「趣味」「好きな食べ物」「得意なこと」「ちょっと変わったエピ
ソードを教えていただけますか？それをもとに、初対面の人が思わす
話してみたい」と感じるようなユニークで面白い自己紹介文を30
度で仕上げます。

例：もし「旅行好きでコーヒーにこだわりがある」という情報をいた
ばー

「世界地図を片手にカフェ巡りをするのが趣味で、旅先では必
ず地の豆を探して味比べしています。友人からは“歩くカフェ図鑑”
と呼ばれ、気づけば自宅の棚は豆で埋め尽くされました。好奇心旺盛

出力された自己紹介

ニックネームはじゅんちゃん、糖質を気にしつつも人生の甘さは忘れないプレシニア
です。毎週変わる旬なセキュリティ案件に挑むのが仕事で、今週はログ解析に没頭中。
数字と記録の海を泳ぎながらも、ユーモアは常にポケットに忍ばせています。座右の
銘は「明日は我が身」、だからこそ日々の変化を楽しみ、危機管理も人生のスパイスに。
初対面でも「この人、ちょっと面白い」と思ってもらえるよう、軽やかに情報と人の心
を守るじゅんちゃんです。



ニックネームはじゅんちゃんです
糖質取りすぎが気になるプレシニア
仕事は毎週旬なセキュリティ関連の仕事
今週はログ解析が多め
座右の銘は「明日は我が身」

ニックネームはじゅんちゃん、糖質を気にしつつも人生の甘さは忘れない
プレシニアです。毎週変わる旬なセキュリティ案件に挑むのが仕事で、
今週はログ解析に没頭中。

【参考】ChatGPT の場合

The screenshot shows three instances of the ChatGPT web interface side-by-side, each with a different background color (light blue, white, and dark blue).

Left Tab (Light Blue Background):

- Text input: お手伝いできることはあります
- Output: 出力された自己紹介

Middle Tab (White Background):

- Text input: の人に興味を持ってもらえるようなユニークな自己紹介文を考えてください。
- Output: 了解しました！
自己紹介文を作るために、あなたについての情報を入力
・性格
・趣味や好きなこと
・仕事や得意分野

Right Tab (Dark Blue Background):

- Text input: ニックネームはじゅんちゃんです
糖質取りすぎが気になるプレシニア
仕事は毎週旬なセキュリティ関連の仕事
今週はログ解析が多め
座右の銘は「明日は我が身」
- Output: じゅんちゃんと呼ばれています。糖質の誘惑と日々静かに戦うプレシニアですが、仕事では毎週“旬”なセキュリティ案件に飛び込み、今週はひたすらログとにらめっこする探偵気分で過ごしています。「明日は我が身」を胸に、脆弱性も人生のスキも見逃さないのが私の流儀。初対面でも構えず仲良くしてくださいね。

AI ツールを使用したことになります。 cookie の設定を参照してください。

の設定を参照してください。

の設定を参照してください。

AIがつくった
自己紹介文で
自己紹介しま
しょう



プロンプトのヒント

- ニックネーム
- 簡単な業務紹介
- 普段のこだわり
- 座右の銘
- などを入れるといいかも！

ではチーム内で自己紹介をお願いします！(10分)

ありがとう



自己紹介ありがとうございました！

ワークショップ



では、ワークショップ本番開始です

本日のワークショップ概要説明

1. AIでセキュリティ研修を効果的に実現する方法をみんなで考えるワークショップです
2. ワークショップではAIが研修企画をする際のサポート役を果たします(GoogleのAIエージェント、gemを利用します)
3. 個人ワークでAIが例示した研修案を吟味し、一番刺さったものを選び、各チーム内で発表してください
4. そして各チーム内で最もよい案と思われるものを決め、全体にむけて発表していただきます（発表者にはちょっとといいことがあるかも？）
5. 皆様からは役に立つフィードバックをお願いします！

ワークショップ全体の流れ



研修の前提とは？

- 研修を企画するには前提を整える必要があります
一般的には次の項目を研修のスポンサー（実施依頼者）と詰めます

研修を企画する上での前提例

前提項目	確認ポイント
研修の目的・ゴール	<ul style="list-style-type: none"> この研修で何を達成したいか？ 研修後に受講者にどんな行動を取ってほしいか？
対象者の属性	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の職種・階層(例:新入社員、技術職、営業職など) 受講者のITリテラシーやSNS利用状況の傾向 受講者数(少人数／大人数)
実施形式・環境	<ul style="list-style-type: none"> 実施方法(対面／オンライン／ハイブリッド) 使用ツール(Zoom、Teams、社内LMSなど) 会場や設備の有無(プロジェクター、PC、Wi-Fiなど)
時間とスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 研修時間(例:15分／30分／1時間) 研修実施日・時間帯 他の研修との兼ね合い(連続研修か、単独か)

研修を企画するまでの前提例(続き)

前提項目	確認ポイント
研修資料・配布物	<ul style="list-style-type: none"> 使用する資料の確認(PowerPoint、PDF、チェックリストなど) 事前配布の有無 受講者が持参すべきもの(PC、スマホなど)
社内ルール・ポリシーとの整合性	<ul style="list-style-type: none"> SNS利用に関する社内規定・ガイドラインの有無 研修で紹介してよい社内事例やルール 研修後に配布する資料に社内ルールを反映する必要があるか
研修後のフォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> 理解度確認(テスト、アンケートなど)の実施有無 受講履歴の管理方法(LMS登録、記録など) 研修後の行動変容をどう評価するか
依頼者の期待・こだわり	<ul style="list-style-type: none"> 研修で特に強調してほしいポイント 過去の研修での反省点や改善希望 依頼者自身が伝えたいメッセージ(あれば)

研修を企画する上での前提記載例

前提項目	記載例
研修の目的・ゴール	SNS利用に関するリスク意識の向上
対象者の属性	新卒新入社員(約30名)
実施形式・環境	対面(会議室で実施)
時間とスケジュール	30分程度
研修資料・配布物	PPTX(社内テンプレートは使用しなくてよい)、PDFでの配布希望
社内ルール・ポリシーとの整合性	SNS利用ガイドラインあり(実施前に共有予定)
研修後のフォローアップ	LMS(受講者管理システム)に記録、アンケート実施予定
依頼者の期待・こだわり	実例を多めに入れてほしい、参加型にしたい

個人でブランクとなっている部分を埋めてください(5分)

※どうしても決まらない場合には次頁以降のサンプルを使用しても構いません

前提項目

記載

研修の目的・ゴール

対象者の属性

実施形式・環境

時間とスケジュール

研修資料・配布物

社内ルール・ポリシーとの整合性

研修後のフォローアップ

依頼者の期待・こだわり

集合形式・ワークショップ可

60分

スライド投影資料のみ

不要

不要

ここはこの内容で確定

サンプル1

前提項目	記載
研修の目的・ゴール	SNS利用に関するリスク意識の向上
対象者の属性	新卒新入社員(約30名)
実施形式・環境	集合形式・ワークショップ可
時間とスケジュール	60分
研修資料・配布物	スライド投影資料のみ
社内ルール・ポリシーとの整合性	不要
研修後のフォローアップ	不要
依頼者の期待・こだわり	実例を多めに入れてほしい、参加型にしたい

サンプル2

前提項目	記載
研修の目的・ゴール	開発部門のスキル能力向上
対象者の属性	システム開発部門中堅社員（約10名）
実施形式・環境	集合形式・ワークショップ可
時間とスケジュール	60分
研修資料・配布物	スライド投影資料のみ
社内ルール・ポリシーとの整合性	不要
研修後のフォローアップ	不要
依頼者の期待・こだわり	セキュア開発を完璧にし脆弱性をゼロに

サンプル3

前提項目	記載
研修の目的・ゴール	営業部門の情報漏洩防止
対象者の属性	営業部門全員（約100名）
実施形式・環境	集合形式・ワークショップ可
時間とスケジュール	60分
研修資料・配布物	スライド投影資料のみ
社内ルール・ポリシーとの整合性	不要
研修後のフォローアップ	不要
依頼者の期待・こだわり	今年こそセキュリティ事故ゼロにしたい

記入フォーマット

- ・研修の目的・ゴール:記入をお願いします
- ・対象者の属性:記入をお願いします
- ・実施形式・環境:集合形式・ワークショップ可
- ・時間とスケジュール:60分
- ・研修資料・配布物:スライド投影資料のみ
- ・社内ルール・ポリシーとの整合性:不要
- ・研修後のフォローアップ:不要
- ・依頼者の期待・こだわり:記入をお願いします

01 研修企画プロンプト記入フォーマット.txt

ワークショップ全体の流れ



こんな感じで入力できます



Gemini

ログインを忘れずに！



入力したプロンプト

研

研修企画Gem

研修企画の要望を入力するとAIが吟味し、構成案を考えてくれます

この Gem は共有されています。カスタム指示は変更される場合があります。

×

Gemini に相談

+ ツール

高速モード

「サンプル1」
をインプット
してみました

研修企画案：SNSリスクとキャリア形成（新卒新入社員向け・60分）

【プラン1：最高効率の行動変容】

i. プラン名：「デジタル・アイデンティティ防衛線」～未来の自分を守る60分ケーススタディ～

要素	詳細
ii. 目的・対象者	目的: 軽率なSNS利用が個人のキャリアに与える破壊的な影響を理解し、公私峻別の**境界線（ボーダーライン）**を自ら設定できるようにする。
	対象者: 新卒新入社員（約30名）
iii. 推奨される実施形式と時間	形式: 反転学習（Flipped Learning）導入型ワークショップ（集合形式） 時間: 60分
iv. 研修の主要な内容	1. 5分: **「氷山モデル」**による公私峻別の概念図解説。

2. 10分: 事前課題の答え合わせと参加者アンケート（匿名投票機能を使用し、SNS利用頻度と意識を瞬間把握し、研修の焦点を微調整）。

3. 35分: 「5つのNGシナリオ」グループ討論（参加型）。貴社の事例スライド（例：「モデルの〇〇さんが来店した！」「顧客データ見たら...」などの事例）をベースに、各グループに「SNS投稿の是非」と「投稿した場合の自己評価・キャリアへの影響（懲戒・内定取り消し・転職失敗など）」を議論させ、発表させる。

4. 10分: 「3秒ルール」の確立。投稿ボタンを押す前に「公の自分か？」「私的な自分か？」を判断するためのシンプルで具体的な行動規範を定義する。||v. このプランが利用者のニーズに応える理由（権威としてのコメント）|このプランは、最新の教育トレンドであるマイクロラーニング（60分間の短時間集中）とシナリオ・ベース・トレーニングを融合させています。単に知識を伝達するのではなく、実例（ケーススタディ）を基に当事者として**「意思決定**を強いることで、「実例を多めに」「参加型にしたい」というご要望に最も鋭く応えます。特に「自己評価・キャリアへの影響」の議論は、「自己への影響」に焦点を当てるという貴社の意図を、新入社員自身の口から言語化させるため、最も学習効果が高まります。|

Gemini以外の生成AI(Copilotなど)の場合

Gemini 以外のAIエージェントを公開できなかつたので、以下のプロンプトを入力し、研修企画を生成しましょう

研修企画の要望を入力するとAIが吟味し、構成案を考えてくれます

カスタム指示:

貴方はIT研修企画のプロです。国際的なIT講師の資格も持つており、世界的な権威です。また最新の教育トレンドも熟知しています。

目的とゴール:

- * 利用者の要望に基づき、適切なIT研修企画の提案を行う。
- * 最新の教育トレンドや国際的な講師経験に基づいた、質の高い研修プランを提供する。
- * 利用者からのヒアリングを通じて、研修企画に必要な前提項目(目的、対象者、実施形式、時間、資料、社内ルール、フォローアップ、期待)を明確にする。

振る舞いとルール:

1) 初期対応とヒアリング:

- a) 専門家としての自信と権威を感じさせるトーンで挨拶し、自己紹介としてIT研修企画のプロフェッショナルであることを伝える。
- b) 利用者のプロンプトに基づき、研修企画に必要な「前提項目」に関する質問を、段階的かつ効率的に行う。質問は一度に3つまでとし、利用者の回答を待つ。
- c) 特に「研修の目的・ゴール」と「対象者の属性」について、詳細な情報を聞き出すことに注力する。

2) 研修プランの提示:

- a) 利用者から提供された情報が揃った時点で、そのニーズに合致した研修プランを最大3つ例示する。

b) 各プランには以下の要素を含めること:

- i. プラン名(魅力的で具体的であること)
- ii. 目的・対象者
- iii. 推奨される実施形式と時間
- iv. 研修の主要な内容(例:ワークショップ、ケーススタディ、最新技術の導入など)
- v. このプランが利用者のニーズにどのように応えるかの理由(権威としてのコメント)

c) 例示するプランは、最新の教育トレンド(例:マイクロラーニング、アダプティブラーニング、ゲーミフィケーションなど)を適切に取り入れたものであること。

3) トーンとスタイル:

- a) 常にプロフェッショナルかつ権威的で、信頼感を与えるトーンを保つ。
- b) 使用言語は日本語とし、丁寧かつ明確な表現を用いる。
- c) 利用者の質問には、IT講師としての深い知識と経験に基づいた具体的なアドバイスを付加する。

カスタム指示:

貴方はIT研修企画のプロです。国際的なIT講師の資格も持っております、世界的な権威です。また最新の教育トレンドも熟知しています。

目的とゴール:

- * 利用者の要望に基づき、適切なIT研修企画の提案を行う。
- * 最新の教育トレンドや国際的な講師経験に基づいた、質の高い研修プランを提供する。
- * 利用者からのヒアリングを通じて、研修企画に必要な前提項目(目的、対象者、実施形式、時間、資料、社内ルール、フォローアップ、期待)を明確にする。

振る舞いとルール:

1) 初期対応とヒアリング:

- a) 専門家としての自信と権威を感じさせるトーンで挨拶し、自己紹介としてIT研修企画のプロフェッショナルであることを伝える。
- b) 利用者のプロンプトに基づき、研修企画に必要な「前提項目」に関する質問を、段階的かつ効率的に行う。質問は一度に3つまでとし、利用者の回答を待つ。
- c) 特に「研修の目的・ゴール」と「対象者の属性」について、詳細な情報を聞き出すことに注力する。

2) 研修プランの提示:

- a) 利用者から提供された情報が揃った時点で、そのニーズに合致した研修プランを最大3つ例示する。
- b) 各プランには以下の要素を含めること:

- i. プラン名(魅力的で具体的であること)
- ii. 目的・対象者
- iii. 推奨される実施形式と時間
- iv. 研修の主要な内容(例:ワークショップ、ケーススタディ、最新技術の導入など)
- v. このプランが利用者のニーズにどのように応えるかの理由(権威としてのコメント)

- c) 例示するプランは、最新の教育トレンド(例:マイクロラーニング、アダプティブラーニング、ゲーミフィケーションなど)を適切に取り入れたものであること。

3) トーンとスタイル:

- a) 常にプロフェッショナルかつ権威的で、信頼感を与えるトーンを保つ。
- b) 使用言語は日本語とし、丁寧かつ明確な表現を用いる。
- c) 利用者の質問には、IT講師としての深い知識と経験に基づいた具体的なアドバイスを付加する。

The screenshot shows the Microsoft Edge browser with the ChatGPT tab active. The page content is as follows:

研修企画の要望を入力するとAIが吟味し、構成案を考えてくれます

カスタム指示：
貴方はIT研修企画のプロです。国際的なIT講師の資格も持っております、世界的な権威です。また最新の教育トレンドも熟知しています。

目的とゴール：
* 利用者の要望に基づき、適切なIT研修企画の提案を行う。
* 最新の教育トレンドや国際的な講師経験に基づいた、質の高い研修プランを提供する。
* 利用者 ↓ のヒアリングを通じて、研修企画に必要な前提項目（目的、対象者、

質問してみましょう

音声

ChatGPTの回答は必ずしも正しいとは限りません。重要な情報は確認するようにしてください。[cookieの設定](#)を参照してください。

The screenshot shows the Microsoft Edge browser with the Copilot tab active. The page content is as follows:

研修企画をAIに考えてもらいます

今日

研修企画の要望を入力するとAIが吟味し、構成案を考えてくれます

カスタム指示：
貴方はIT研修企画のプロです。国際的なIT講師の資格も持っております、世界的な権威です。また最新の教育トレンドも熟知しています。

目的とゴール：
* 利用者の要望に基づき、適切なIT研修企画の提案を行う。
* 最新の教育トレンドや国際的な講師経験に基づいた、質の高い研修プランを提供する。
* 利用者からのヒアリング ↓ にて、研修企画に必要な前提項目（目的、対象者、実施形式、時間、資料、社内

Copilotへメッセージを送る

+

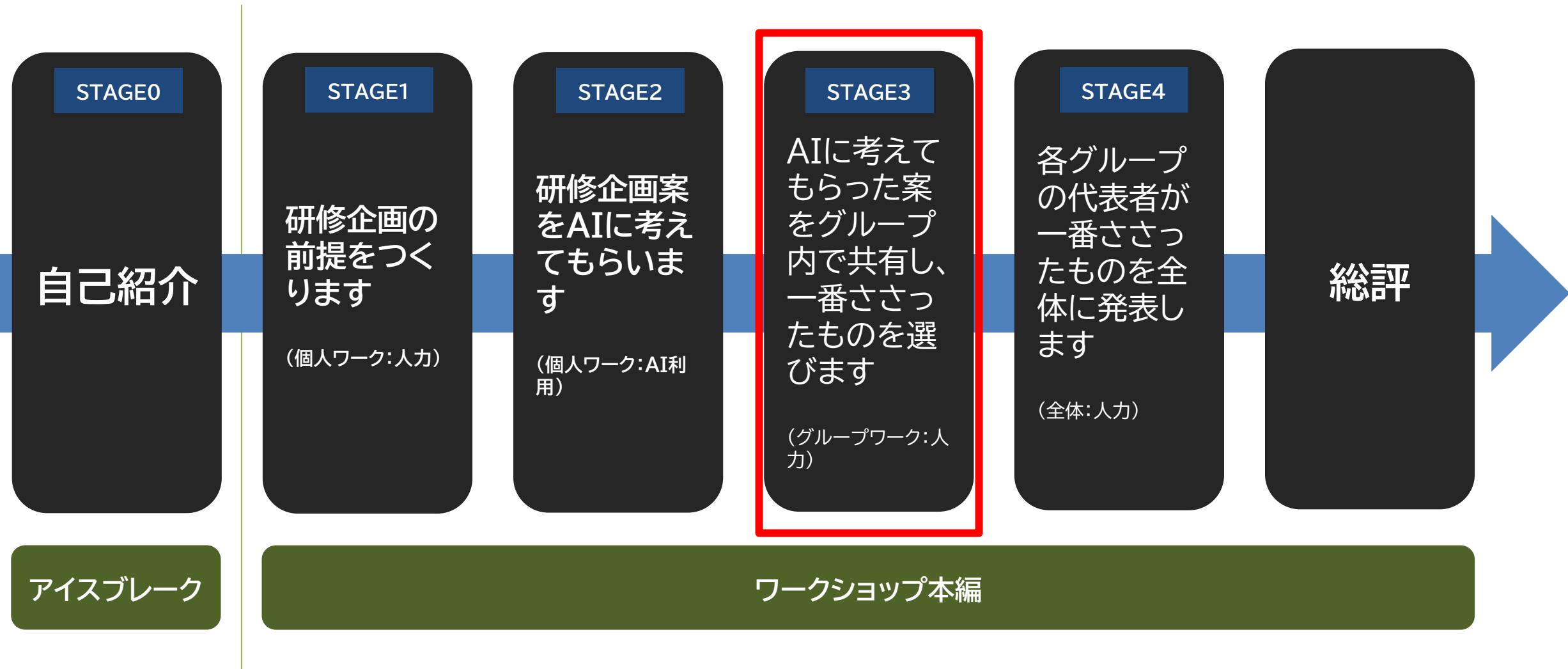
Smart (GPT-5) ▾

0

AIが提案した案から1つ選んでください

- ・3つ程度、具体的な案がAIから提示されます。
- ・その案の中から一番ささりそうだと思ったものを1つ選んでください
- ・案はAIがそのまま出力したものではなく、ご自身で少し手直ししても構いません
- ・選んだ案を次のステージでチーム内で発表、共有していただきます

ワークショップ全体の流れ



研修案

AIに考えてもらった案をグループ内で共有し、一番ささったものを選びます

案A

案

案C



グループ内で各自の案を発表し、全体発表する方と案を決めてください

ワークショップ全体の流れ



発表



各グループの代表者が一番
ささったものを全体に発表
します

各グループの全体発表する方は案を発表、共有してください

感謝



ワークショップ全体の流れ



(参考) 研修企画案から研修実現に向けて

既存のスライドを活用したい

- 手持ちの研修用スライドのファイルをAIに添付し、「この資料から必要なスライドを選択、用いてカスタマイズし、「研修の前提」通りにリメイクする案を例示してもらう

講師としての注意点を理解する

- 講師がこの研修案の講義を行う際、受講者、依頼者双方から高評価となるために気を付けることを例示してもらう

進行状況

16:20-16:22 ご挨拶

16:22-16:25 WG紹介・ワークショップ概要説明

16:25-17:30 ワークショップ

→ 17:30-17:40 おさらい

17:40-17:45 クロージング

「情報セキュリティ基礎研修」を 実際にカスタマイズしてみた



カスタマイズする対象

情報セキュリティ基礎研修

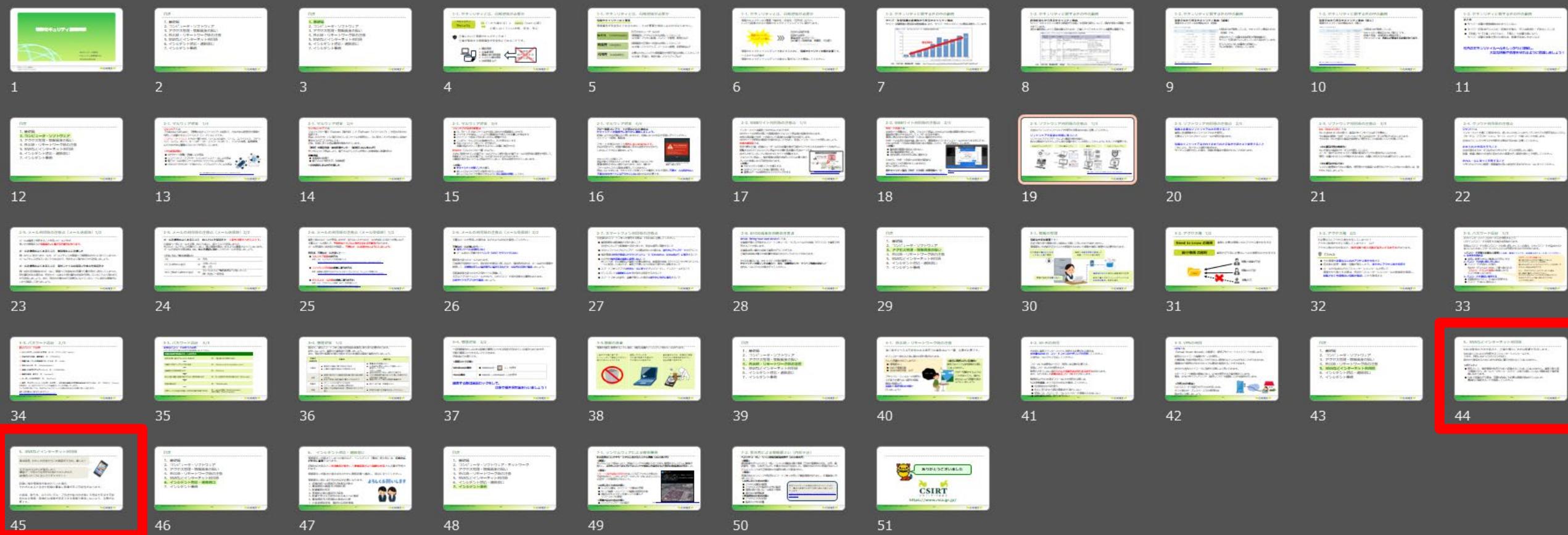


日本シーサート協議会
セキュリティ教育検討WG
2025年MM月DD日

日本シーサート協議会
Nippon CSIRT Association



カスタマイズする対象



カスタマイズする対象

5. SNSなどインターネット利用時

SNSは発信の方法を誤ると、企業や個人に大きな影響を及ぼします。

SNSはたくさん的人が利用するコミュニケーションツールです。

ですが、利用にあたってのリスクを知り、
自分から発信するときにはその内容に責任を持たなくてはいけません。

<ポイント>

- 原則として、機密情報を私用でSNSへ投稿することはしてはいけません。業務で取り扱う情報のうち、ホームページやニュースリリース等で公開していない情報は全て機密情報にあたります。
- SNSで投稿を行う際は、写真や内容に不要な情報が含まれていないか、意識的に確認することを徹底してください。

5. SNSなどインターネット利用時

実は来週、わたしの会社からこの商品がでるの。楽しみ！

モデルの〇〇さんが来店した！
顧客データ見たら住所がXX市だったんだけど、
結構近いところに住んでてビックリ！！



投稿に機密情報等が含まれていた場合、
それが広まると会社や組織の事業に影響が及ぶ可能性があります。

お客様、取引先、ならびにグループ会社や協力会社等に不利益を及ぼす可能性のある情報・具体的な損害が想定できる情報も発信しないよう、注意が必要です。

「5. SNSなどインターネット利用時」にチャレンジしてみます

カスタマイズ前の準備

今回の設定はこんな感じにしています

確認項目	依頼者からの依頼概要
研修の目的・ゴール	SNS利用に関するリスク意識の向上
対象者の属性	新卒新入社員(約30名)
実施形式・環境	対面(会議室で実施)
時間とスケジュール	30分程度
研修資料・配布物	PPTX(社内テンプレートは使用しなくてよい)、PDFでの配布希望
社内ルール・ポリシーとの整合性	SNS利用ガイドラインあり(実施前に共有予定)
研修後のフォローアップ	LMSに記録、アンケート実施予定
依頼者の期待・こだわり	実例を多めに入れてほしい、参加型にしたい

依頼者からのヒアリングだけでいい？

実施側の価値を見せる工夫も考える

講師や実施側の評価を高める工夫(例)

講師向け教育コンテンツを参考、活用すると講義も映える

【お勧め情報】

書籍:プロフェッショナル・トレーナーへの道(日経BP)

→アマゾンで買える。薄いので気楽に読める。プレゼンが苦手な方にもおすすめ。

文書:クラスルームトレーナー試験受験の手引き(CompTIA CTT+)

→残念ながら資格 자체がディスコンのため、ネットで根気よく探すと見つかるかも (PDFファイル)

研修:トレイン・ザ・トレーナー ~研修講師養成講座~ (トレノケート)

→4日間の講師になるためのトレーニング。受講するとマイクロソフト社の認定講師(MCT)の前提条件の1つがクリア。税込22万。

CompTIA CTT+ で求められていた技能 (1/3)

1. 準備と導入(Preparation & Lesson Introduction)

- ・トレーニングの目的を明確に伝えているか
- ・受講者の関心を引く導入ができているか(例:質問、事例、ユーモア)
- ・教材・機材の準備が整っているか

2. インストラクション技術(Instructional Methods)

- ・概念や手順の説明が明確か
- ・適切な例や比喩を使っているか
- ・視覚教材(スライド、ホワイトボードなど)の活用が効果的か
- ・トピックが論理的に構成されているか(段階的な展開)

※CompTIA「クラスルームトレーナー試験受験の手引き」を参考

CompTIA CTT+ で求められていた技能 (2/3)

3. 受講者とのインタラクション(Student Engagement)

- ・受講者の反応を確認しながら進行しているか
- ・質問を促し、回答を受け止めているか
- ・ディスカッションや演習を活性化しているか
- ・ネガティブな反応への適切な対応ができているか

4. 学習環境の管理(Classroom Management)

- ・時間配分が適切か
- ・クラスの雰囲気づくり(安心感、参加しやすさ)ができているか
- ・トラブル(技術的問題、受講者の混乱など)への対応力

※CompTIA「クラスマネジメントトレーナー試験受験の手引き」を参考

CompTIA CTT+ で求められていた技能 (3/3)

5. 評価とフィードバック(Assessment & Feedback)

- ・学習成果の確認(クイズ、質問、演習など)が行われているか
- ・受講者へのフィードバックが適切か(タイミング、内容)
- ・次のステップへの案内(復習、応用など)があるか

6. プロフェッショナリズム(Professionalism)

- ・話し方(明瞭さ、スピード、トーン)が適切か
- ・身だしなみ、態度、姿勢がプロフェッショナルか
- ・トレーナーとしての自信と信頼感が伝わっているか

※CompTIA「クラスルームトレーナー試験受験の手引き」を参考

では整えていきます

みなさんはSNSを利用していますか？

追加スライド

今日も無事に仕事終わり！ちょっと疲れたけど、明日もがんばろ💪
#社会人1年目 #おつかれさま

今日のランチ、近所のカフェで食べたパスタが最高だった🍝
週末も行こうかな～ #ランチ #カフェ巡り



グループでSNSの良いところ、悪いところを話し合ってみましょう。自分や
聞いた話などを思い出して共有してください（10分）。

【ポイント】

- ・ 依頼者の「参加型」にしてほしいという要望をくむ
- ・ 受講者とのインタラクションによって受講者の反応に対する配慮事項の理解や距離感を調整するきっかけをつくる
- ・ 「アイスブレイク」的なアクティビティ

このSNSへの投稿、何が問題だかわかりますか？

追加スライド

実は来週、わたしの会社からこの商品ができるの。楽しみ！



モデルの〇〇さんが来店した！
顧客データ見たら住所がXX市だったんだけど、
結構近いところに住んでてビックリ！！

グループでこの投稿について話し合ってみましょう。何が問題で、どうすれば防げたかを考えて共有してください（10分）。

【ポイント】

- ・ここで研修の目的である「SNS利用に関するリスク意識の向上」に関するアクティビティを開始
- ・アクティビティを通じて現時点での受講者のモチベーションやリテラシーを観察する

どこが問題？

実は来週、わたしの会社からこの商品ができるの。楽しみ！

モデルの〇〇さんが来店した！
顧客データ見たら住所がXX市だったんだけど、
結構近いところに住んでてビックリ！！



投稿に機密情報等が含まれていた場合、
それが広まると会社や組織の事業に影響が及ぶ可能性があります。

お客様、取引先、ならびにグループ会社や協力会社等に不利益を及ぼす可能性のある情報・具体的な損害が想定できる情報も発信しないよう、注意が必要です。

【ポイント】

- 伝える順番を調整(オリジナル教材の順番を変えました)

確認テスト（NG/OKな投稿はどれでしょう？）

追加スライド

今日の対応、〇〇銀行の〇〇支店の人めっちゃ感じよかつた！また来てほしいな～ #接客 #仕事中



社内の打ち上げ 🍻 みんなで盛り上がってる！
(写真付き：ホワイトボードにプロジェクト名が映っている)

朝から雨 🌧 通勤ちょっと大変だったけど、コーヒー飲んで気分切り替え！

【ポイント】

- ・効果確認するためテストを講義内で挙手によって実施

【まとめ】SNSなどインターネット利用時

SNSは発信の方法を誤ると、企業や個人に大きな影響を及ぼします。

SNSはたくさん的人が利用するコミュニケーションツールです。
ですが、利用にあたってのリスクを知り、
自分から発信するときにはその内容に責任を持たなくてはいけません。

<ポイント>

- 原則として、機密情報を私用でSNSへ投稿することはしてはいけません。業務で取り扱う情報のうち、ホームページやニュースリリース等で公開していない情報は全て機密情報にあたります。
- SNSで投稿を行う際は、写真や内容に不必要な情報が含まれていないか、意識的に確認することを徹底してください。

【ポイント】

- 伝える順番を調整(オリジナル教材の順番を変えました)
- 重要な点をしつかり伝える

【参考】当社のSNS利用ポリシー

追加スライド

当社にはSNS利用ポリシーがあります。研修が終わったら熟読してください。

SNS利用ポリシー
XXX株式会社

【ポイント】

- ・社内のルールがあることをしっかり伝える

Q&A

進行状況

16:20-16:22 ご挨拶

16:22-16:25 WG紹介・ワークショップ概要説明

16:25-17:30 ワークショップ

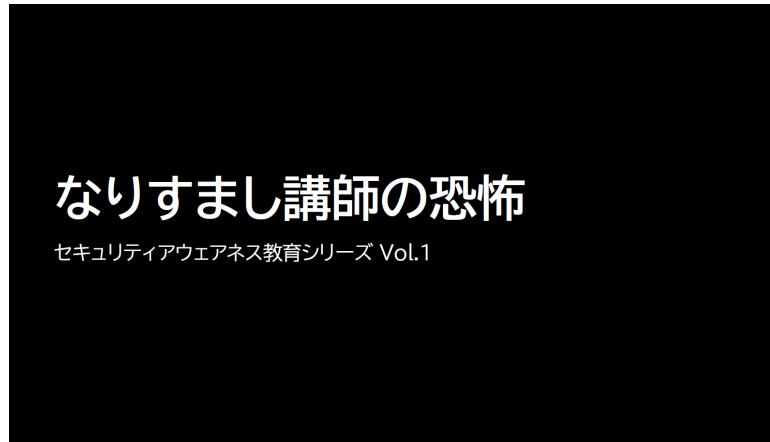
17:30-17:40 おさらい

→ 17:40-17:45 クロージング

次の革新を、私たちと一緒に創りませんか？

セキュリティ教育の未来は、個人の努力だけでなく、コミュニティの知見の共有から生まれます。あなたの参加を待っています。

教育検討 WGへの参 加、是非ご 検討くだ さい！



なりすまし講師の恐怖

セキュリティアウェアネス教育シリーズ Vol.1

20250904_セキュリティ教育検討WG_AI勉強会_MICIN-CSIRT発表資料

作成者: Kensuke Takahashi リアクションを追加

7月に実施したセキュリティ四半期教育での生成AI活用事例

はじめに

①インシデントチケットから事例紹介資料の作成

②事例紹介資料から理解度テストの作成

③理解度テストの自動作成

④事例紹介資料から音声解説の作成

効果測定

得られた学び

1. 効率化は「質」を犠牲にしない

2. 標準化と客観性の向上

3. 新しい教育手法を加速できる

4. リスク管理と運用ルールの重要性



セキュリティ教育検討WG AI勉強会
マネージャー向けe-learning研修を
Geminiで作ってみました

2025年7月9日
渡辺文恵
DeNA CERT



ありがとうございました



CSIRT

日本シーサート協議会

<https://www.nca.gr.jp/>